

かいけ

発 行 者
皆生みどり苑（特別養護老人ホーム）
〒683-0002 米子市皆生新田2-3-1
電話0859（32）2500
FAX0859（32）2507
E-mail midori_info@tottori-kousei.jp

ブログもご覧ください

皆生みどり苑2丁目

検索

皆生みどり苑



ブログは「かいけ」

楽しいこと、
集めました。
嬉しくいっしょ



contents

- ・ 令和 8 年度事業計画
- ・ 新任、転任等職員紹介
- ・ 開設 5 0 周年イベント

- ・ 生まれた「ゆとり」を、大切な笑顔のために
- ・ 年間行事予定
- ・ 寄付、ボランティアの御礼
- ・ 実習受け入れ紹介

*別紙 令和7年度ご家族アンケート報告

令和8年度 皆生みどり苑 事業計画

今年度の重点事業目標を策定いたしました。
当施設の基本方針に基づき、施設機能を活かした地域貢献に努めるとともに、
誰もが共に暮らせる地域共生社会の実現に向けた支援体制の構築を目指します。

基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

- ア 状態変化時は速やかに担当国会議を開催し、迅速に方針を決定する。
- イ 職員の資質向上のために研修体制を充実させ、重度者ケアにおけるスキルアップを図る。
- ウ 嘱託医との密な連携体制を維持し、利用者の日々の健康状態を正確に把握する。
体調不良の兆候を早期に察知し、迅速に多職種協働で対応する体制を継続する。
- エ 本人及び家族の意向、体重等のデータ及び日常の様子を基に、身体的負担を考慮した食事提供をする。看取り期においても経口摂取の可能性を検討し、嗜好に合った食事の支援を通じ本人が望む暮らしを最期まで支える。
- オ 早期からACP(アドバンス・ケア・プランニング)に取り組む。また、ケアに携わる職員の心理的フォローにも注力し、職員全員が寄り添える看取りケアを実践する。

(2) 個別ケアの充実

- ア 眠りSCAN等のデータを分析し根拠に基づく体位変換や訪室時期の最適化を図る。
また、排泄センサー「Helppad2」導入を見据えた排泄検討会を新たに創設し、業務の効率化とケアの質の向上を一体的に推進する。
- イ 24時間シートに意向や生活リズムを反映させ、より実用的なツールとして活用する。
特に「本人の意向」の把握に注力し、多職種で情報を共有することで、その人らしい暮らしの継続を支援する。
- ウ 身体状況に合わせた福祉用具の選定とポジショニング表の活用を継続、褥瘡発生数の減少傾向を維持する。多職種できめ細やかに協議し、皮膚トラブルや誤嚥の未然防止に努める。

- エ 個別外出、外部ボランティア、衣類の訪問販売の導入等により社会との繋がりを維持する。
外出などを通じ、生活の彩りと自己決定を重視した支援をする。
- オ ユニットケアの原点に基づき、使い慣れた家具や小物の配置を再考案することで、
「これまでの生活の継続」と「家庭的な雰囲気」を重視した生活空間を整える。
- カ 医療機関と緊密に連携し、入所前の治療やケア及び日々の健康状態を把握する。
環境変化による不安を解消し当苑での生活を円滑に開始できる体制を多職種で整える。

(3) その他(組織運営・生産性向上の推進)

- ア 高稼働率の維持に努める。
 - 1.入所年間平均97%以上、短期入所50%以上を確保する。
 - 2.10日以内の欠員補充を継続し、欠員期間短縮及び稼働の安定化を図る。
- イ 生産性向上の推進と記録業務の見直し
当苑の重要課題である記録業務の負担軽減のため、将来的に取り組む訓練・栄養・口腔の
一体的取り組みを見据え、分業化とICT化を推進する。他施設の見学や研修を通じ、介護
記録ソフトの切り替えも視野に入れた業務改善を図る。
また入浴検討会を新たに創設し、将来の機器更新も含めた入浴の在り方を検討する。
- ウ 広報活動及び職員のやりがいの創出
開設50周年及び設備更新完了を機にメディアを活用した広報を展開、知名度向上と求人・
入所申込みの促進を図る。また50周年祭を開催し地域交流を深めるとともに、職員の団結
力と働きがいの向上につなげる。
- エ 新たな加算の算定を通じた介護の質の向上
介護の質と職員の資質を向上させるため、令和8年度の早期に新たな加算の算定を開始する。

新任・転任 職員紹介

今年度は2名の新採用職員と4名の転任職員を
迎えてスタートしました。
簡単ですが、ご紹介致します。

左より
後列：川井、渡部、近藤、月森
前列：平野、飯田苑長、花倉



- 1.川井 涼子
- 2.皆生やまと園
- 3.医務室(看護師)
- 4.楽しい生活を送っていただけるよう、明るく安心感のある
ケアをしていきたいです。

- 1.近藤 麻美
- 2.えがお
- 3.すずらんユニット
- 4.2年ぶりにみどり苑に戻ってきました。皆さんと一緒に笑
顔で過ごせるように頑張ります。よろしくお願いします。

- 1.渡部 隆
- 2.皆生やまと園
- 3.けやきユニット
- 4.ご利用者が安心して過ごしていただけるよう支援してい
きたいと思います。

- 1.月森 健人
- 2.湯梨浜はごろも苑
- 3.機能訓練(作業療法士)
- 4.入居者お一人おひとりの「その人らしい生活」を
支えられるよう取り組んでまいります。

- 1.花倉 由華理
- 2.新採用
- 3.すずらんユニット
- 4.今までの経験を活かしつつ、新たに学ばせていただきた
いです。宜しくお願い致します。

- 1.平野 沙織
- 2.新採用
- 3.なでしこユニット
- 4.右も左も分かりませんが、みなさまのお役に立てるよう
にガンバリます！

(1.氏名 2.前任地等 3.部署等 4.ひとこと)



退職
次長兼介護主幹 長谷川 直美



新天地でのご活躍を
お祈り申し上げます

皆生やまと園へ
看護師 田邊 浩子

湯梨浜はごろも苑へ
介護員 竹本 大希
理学療法士 挾間 俊希

皆生みどり苑



地域の皆さまと
ともに歩んで50年

地域の皆様に支えられ、皆生みどり苑は令和8年に開設50周年の大きな節目を迎えることができました。これまでの長い歩みを温かく見守ってくださった皆様へ、心からの感謝を申し上げます。

この秋、地域の皆様と一緒に楽しいひとときを過ごせるよう、ささやかな感謝イベントを開催いたします。

日時：令和8年10月17日（土） 10：00～16：00

場所：皆生みどり苑駐車場 等

当日は、キッチンカーやキッズコーナー、楽しいステージイベントのほか、普段は見られない施設の中をご案内するツアーや、最新の福祉用具の体験コーナーもご用意します。「特養ってどんなところかな？」と気になっている方も、ぜひこの機会に気軽に遊びにいらしてください。

詳しいスケジュールやイベント、フード等の内容は、後日ブログ等でお知らせいたします。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

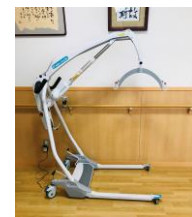
生まれた「ゆとり」を、大切な笑顔のために

当施設では、ご利用者の皆様にこれまで以上に質の高いサービスを提供するため、「生産性向上推進加算Ⅱ」を取得し、最新の介護ロボットやICT機器を積極的に導入しています。

新築移転当初から移乗用リフトを導入し、ご利用者、職員ともに体に負担をかけない介護（ノーリフティングケア）を実践しています。近年ではベッド上の状態をリアルタイム

で見守る「眠りスキャン」を導入し、睡眠データから一人ひとりの生活リズムに併せたケアにつなげることができています。

生まれたゆとりは、ご利用者お一人おひとりの想いに寄り添い、じっくり向き合う時間へと還元します。私たちはこれからも、心と身体にゆとりを持った温かいケアをお届けします。



【移乗用リフト】
持ち上げない介護でご利用者と職員を守ります。



【眠りスキャン】
ベッドマットレスの下に敷き、離れた場所から見守ります。眠りの質も確認できます。

4月	花見散歩	10月	開設50周年イベント
5月	アロマハンドトリートメント 巻き寿司作り	11月	まつかぜ喫茶 秋のおやつ作り
6月	ドッグセラピー フラワーアレンジメント	12月	クリスマス会 餅つき
7月	学生ボランティア受入 七夕	1月	正月（書初め、初詣、他） ドッグセラピー
8月	学生ボランティア受入 ミニ夏祭り	2月	節分 大福茶会
9月	敬老を祝う会・作品展 演芸週間	3月	ひな祭り 春のスイーツ作り

現在決定している年間行事を
抜粋しました。
この他にもたくさんの方のレクリエーションや活動、ユニットごとの行事を予定しています。

年間行事予定

ご寄付、ボランティア御礼

- ☆ 心温まるご寄付をいただきました。ご利用者の生活に役立てさせていただきます。
 - ・ウエス用古着等/匿名（ご利用者ご家族）様
 - ・ウエス用古着、タオル等/NTT退職者 山茶花の会 様、もめんの会 様
- ☆ ボランティアに来ていただきました。楽しみや癒しの時間をありがとうございます。
 - ・オカリナ演奏 アッキー＆オカリナーナフレンズ 様
 - ・ドッグセラピー 高津佐あゆみ 様

実習受け入れ

- ☆ 未来を担う実習生を受け入れました。今後のご活躍を期待しています。
 - ・鳥取大学医学部1年生 4名